2023/3/27

＜白金標準先物、4050 円以下に抵抗を見せるなど、逆張り相場・・＞

（出所：オアシス）

シリコンバレー銀行の破綻、クレディ・スイスが UBS に買収されるなど、金融市場では信用リスクが高まりを見せるなど逃避の動きを強めている。そのため逃避需要の金価格と景気商品の白金価格は真逆な値動きを見せている。特に週末は新たに欧州でドイツ銀行が 2028 年償還の Tier２劣後債の早期償還を発表したが、以前から米国商業用不動産に対するエクスポージャー、大規模なデリバティブ取引を投資家が懸念しており、クレディ・スイスの AI1 債が無価値になった事も関連してドイツ銀行の株価が一時 15%の下落を見せるなど欧州市場における金融不安が再熱見せている。ただドイツ首相、ドイツ連邦銀行総裁、ラガルド ECB 総裁などが声明や発言を行い、イエレン財務長官も金融安定監視評議会の緊急会合を開催し「米国銀行システムは引き続き健全かつ強靭だ」と指摘している。またドイツ銀行の Tier２劣後債の償還は通常、投資家の信頼強化を意図としており、株価の下落は一部のファンドが仕掛けた投機の動きであり、一時 3992 円まで売り込まれた白金標準先物も 4094 円まで買い戻しの動きを見せている。そのため金融不安を受けた不確実性は残るが、4100 円以下は需給バランスから見ても信用リスクだけで売り込む事は難しく、押し目買いの相場を続けながら再度 4100 円を上回る値動きに備えるのが無難と思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD とシグナルが重なり、RCI では短期が下げながら、長期も切り下げるなど弱気を示唆する動きを見せている。ただ日足と移動平均線の乖離が無くなり、保合いの様相が強い値動きに思え、4100 円以下を売り込む事は避けた方が無難に思える。

2023/3/27

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,685,000 円(2023 年 3 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 39,160 円(2023 年 3 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30～17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp